

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月7日

上場会社名 東部ネットワーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9036 URL <http://www.tohbu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦原 一義
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員 (氏名) 三澤 秀幸 TEL 045-461-1651
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,146	3.7	202	△0.6	220	0.8	144	7.1
26年3月期第1四半期	3,035	1.3	203	△10.2	218	△8.5	135	△7.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	26.42	—
26年3月期第1四半期	24.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	18,764	15,074	80.3
26年3月期	18,870	14,986	79.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 15,074百万円 26年3月期 14,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,337	△3.2	483	△1.4	505	△1.2	311	△0.4	56.78
通期	12,394	0.6	878	3.5	921	3.4	568	0.0	103.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	5,749,000株	26年3月期	5,749,000株
27年3月期1Q	263,374株	26年3月期	263,374株
27年3月期1Q	5,485,626株	26年3月期1Q	5,485,691株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ホームページに同日掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が見られますが、概ね想定内で推移し、雇用情勢も改善しておりますので、引続き緩やかな景気回復が続いております。

当貨物自動車運送業界におきましては、景気の回復とともにドライバー不足や構内作業員の充足が困難な状況が続いておりますことに加え、有料道路利用料制度見直しや、燃料価格が高騰し続けておりますので、厳しい事業環境下に置かれております。

当社はこのような状況下、清涼飲料輸送の主力荷主は4社から1社に集約され、集中生産体制が確立されたので、大型化(トレーラー化)による輸送力強化を行うとともに、新輸送システム等によって、新規大口荷主の獲得ができましたので、新たな輸送体制を構築いたしました。

さらに、東日本大震災による応援輸送体制から、現地採用のドライバーによる本格的な事業運営体制に移行いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、3,146,766千円(前年同期比3.7%増)、営業利益は、輸送力増強に伴う人件費や、高騰している燃料費等をほぼ吸収して202,440千円(前年同期比0.6%減)となり、経常利益は、220,438千円(前年同期比0.8%増)、四半期純利益は、144,953千円(前年同期比7.1%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(貨物自動車運送事業)

第1営業部門

清涼飲料輸送は、主力荷主が生産能力の増強に加え、次々と新製品の発売を行うとともに、平均気温の上昇もあり、輸送量が大幅に増加いたしましたので、増収となりました。

びん・容器輸送は、製造工場の合理化が行われ、従来輸送していなかった製品輸送が加わり、増収となりました。

新輸送システム等は、トレーラー輸送業務の取込みが順調に進んでおりますことに加え、中京地域で大口荷主と成約ができましたので、大幅な増収となりました。

この結果、第1営業部門の売上高は、前年同期比20.7%増となりました。

第2営業部門

石油輸送は、燃料価格の高騰から節約志向の高まりに加えて、低燃費車が主力となりましたので、輸送量が減少し、減収となりました。

化成品輸送は、消費増税を受けて自動車や化学品の需要が低下傾向にありますが、当該車両の稼働率が向上し、微増となりました。

セメント輸送は、首都圏で物流倉庫建設の増加や、東北の復興で宅地造成が続き、輸送量は増加しておりますので、大幅な増収となりました。

その他輸送は、小型車の専属契約車提供業務は、合理化要請で減収となりましたが、新規に大型車による牛乳輸送がフル稼働となりましたので、増収となりました。

この結果、第2営業部門の売上高は、前年同期比6.3%増となりました。

以上から、当貨物自動車運送事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、2,421,843千円(前年同期比18.0%増)となり、セグメント利益は206,894千円(前年同期比57.9%増)となりました。

(商品販売事業)

当事業の主力製品である石油製品につきましては、複数の大口納入先が廃業いたしましたので、販売量が大幅に減少し、減収となりました。

セメント販売につきましては、公共工事等大型物件の受注ができましたので、増収となりました。

車両販売等につきましては、大型車の販売の成約もありましたが、ソフトウェア販売が前年並、リース業が振るわず、全体として減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、488,717千円(前年同期比26.3%減)となり、セグメント利益は4,058千円(前年同期比5.7%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

自社提供施設につきましては、未稼働部分が成約し、フル稼働になりましたので、増収となりました。

借上提供施設につきましては、大口転貸先等の解約があり、減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、219,283千円(前年同期比27.7%減)となり、セグメント利益は59,048千円(前年同期比57.2%減)となりました。

(その他事業)

自動車整備事業につきましては、大口受注先が移転し作業量が減少いたしましたので、減収となりました。

損害保険代理業等につきましては、新規法人で自動車保険の成約があり、増収となりました。

この結果、当事業の売上高は、16,922千円(前年同期比4.8%減)となり、セグメント利益は5,797千円(前年同期比16.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は4,613,963千円となり、前事業年度末と比べ78,945千円減少いたしました。これは主に営業未収入金が72,371千円増加した一方で、現金及び預金が159,237千円減少したことによるものであります。固定資産は14,150,378千円となり、前事業年度末と比べ27,228千円減少いたしました。これは投資その他の資産が17,326千円増加した一方で、有形固定資産が37,973千円、無形固定資産が6,580千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,764,342千円となり、前事業年度末と比べ106,173千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,641,379千円となり、前事業年度末と比べ185,427千円減少いたしました。これは主に支払手形が29,651千円、未払費用が115,287千円それぞれ増加した一方で、未払金が193,350千円、未払法人税等が132,366千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は2,048,176千円となり、前事業年度末と比べ8,798千円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が3,891千円増加した一方で、長期預り保証金が13,875千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,689,555千円となり、前事業年度末と比べ194,225千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は15,074,786千円となり、前事業年度末と比べ88,052千円増加いたしました。これは四半期純利益144,953千円及び剰余金の配当68,570千円により利益剰余金が76,383千円、その他有価証券評価差額金が11,669千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.3%(前事業年度末は79.4%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の経営成績は概ね予想どおりに推移しているため、平成26年5月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,155,623	2,996,385
受取手形	—	15,783
営業未収入金	1,338,192	1,410,564
リース投資資産	16,128	15,375
原材料及び貯蔵品	28,394	27,695
その他	159,067	152,915
貸倒引当金	△4,497	△4,755
流動資産合計	4,692,908	4,613,963
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,283,336	3,240,840
車両運搬具(純額)	418,906	436,070
土地	7,520,861	7,520,861
その他(純額)	320,102	307,461
有形固定資産合計	11,543,207	11,505,234
無形固定資産	85,710	79,129
投資その他の資産		
投資有価証券	982,138	1,000,474
差入保証金	1,442,478	1,442,297
その他	126,969	126,142
貸倒引当金	△2,898	△2,898
投資その他の資産合計	2,548,688	2,566,014
固定資産合計	14,177,606	14,150,378
資産合計	18,870,515	18,764,342
負債の部		
流動負債		
支払手形	119,656	149,308
営業未払金	818,342	827,840
未払金	316,093	122,742
未払費用	167,069	282,356
未払法人税等	195,897	63,531
引当金	96,993	35,664
その他	112,752	159,935
流動負債合計	1,826,806	1,641,379
固定負債		
繰延税金負債	1,150,532	1,154,423
再評価に係る繰延税金負債	123,215	123,215
引当金	118,068	120,583

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
長期前受金	53,715	52,328
長期預り保証金	596,083	582,207
資産除去債務	15,360	15,418
固定負債合計	2,056,974	2,048,176
負債合計	3,883,781	3,689,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	527,722	527,722
利益剰余金	14,298,634	14,375,017
自己株式	△195,054	△195,054
株主資本合計	15,184,334	15,260,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	252,201	263,870
土地再評価差額金	△449,801	△449,801
評価・換算差額等合計	△197,600	△185,931
純資産合計	14,986,733	15,074,786
負債純資産合計	18,870,515	18,764,342

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,035,881	3,146,766
売上原価	2,733,407	2,848,629
売上総利益	302,473	298,137
割賦販売未実現利益戻入額	333	459
割賦販売未実現利益繰入額	416	407
繰延リース利益戻入額	—	2,666
繰延リース利益繰入額	3,517	2,400
差引売上総利益	298,873	298,456
販売費及び一般管理費	95,246	96,015
営業利益	203,626	202,440
営業外収益		
受取利息	124	78
受取配当金	10,411	11,896
その他	6,035	7,699
営業外収益合計	16,571	19,674
営業外費用		
支払利息	1,550	1,416
その他	—	260
営業外費用合計	1,550	1,676
経常利益	218,647	220,438
特別利益		
固定資産売却益	1,391	7,512
特別利益合計	1,391	7,512
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	220,038	227,950
法人税、住民税及び事業税	58,925	62,762
法人税等調整額	25,716	20,234
法人税等合計	84,642	82,996
四半期純利益	135,396	144,953

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	商品販売事 業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,051,898	663,020	303,186	17,775	3,035,881	—	3,035,881
計	2,051,898	663,020	303,186	17,775	3,035,881	—	3,035,881
セグメント利益	131,025	3,841	137,947	6,947	279,761	△76,134	203,626

(注) 1. 「その他事業」は、自動車整備業及び損害保険代理業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上 額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	商品販売事 業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,421,843	488,717	219,283	16,922	3,146,766	—	3,146,766
計	2,421,843	488,717	219,283	16,922	3,146,766	—	3,146,766
セグメント利益	206,894	4,058	59,048	5,797	275,800	△73,359	202,440

(注) 1. 「その他事業」は、自動車整備業及び損害保険代理業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。